※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「科学と人間生活」（啓林館）						
副教材等	「新課程版　フォローアップドリル物理基礎」（数研出版編集部） 「高等学校　生物基礎」（啓林館） 「２０２３新課程版セミナー生物基礎」（第一学習社） 「新課程　フォトサイエンス生物図録」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１　日常生活で起こる様々な自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度をもつこと。
２　疑問に思ったことを記録し、調べたり、質問したりする態度をもつこと。
３　学んだことを自分の言葉を加えて短文で表現する力を身につけること。
４　クラスメイトと討論をしながら，学び合い・教え合う姿勢を身につけること。

２　学習の到達目標

(1) 自然と人間生活とのかかわりから，身近な物事・現象に関する観察，実験などを通して自然現象の背景には原理や法則があることを理解させる。
(2) 科学技術が人間生活に果たしてきた役割について気付き，身近な物事・現象に関する観察，実験などを通して理解させ，自然現象を論理的に考察・分析し，その本質を原理や法則から説明できる見方・考え方を養う。
(3) 自然現象に関心をもち，科学技術と人間社会の関わりを理解しながら科学に対する興味・関心を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・観察や実験を通して，様々な自然現象の背景には原理や法則があることを理解できたか。 ・自然現象を定量的に考察、理解できたか。 ・観察や実験を通して科学的に探究する方法を習得できたか。 ・課題や実験のレポートにおいて，的確に表現する方法を習得しているか。	・さまざまな自然現象を論理的に考察・分析し，その本質を原理や法則から説明できるか。 ・観察や実験を通して，自然現象を論理的に分析，問題解決し，実験結果(事実)に基づいて科学的に判断できるか。	・自然現象に関心をもち，科学的な見方をしているか。 ・授業，実験に意欲的に参加し，論理的に探究しようとする態度が見えるか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第2章　材料とその再利用	Ａ プラスチック Ｂ 金属 Ｃ セラミックス	a：プラスチック・金属・セラミックスの種類と用途，性質，製造法について理解することができる。 b: プラスチックの種類と製品について調べ，分類し，表現することができる。 b：身のまわりのプラスチック・金属・セラミックの利用と種類，その製造法について考えることができる。 c：身のまわりのプラスチック・金属・セラミックス性質やその利用について振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
	第1章　身近な天体と太陽系における地球	Ａ太陽系の中の地球 Ｂ太陽と人間生活 Ｃ天体の運行と人間生活	a: 太陽と月の構造や様子，見え方について理解することができる。 b: 太陽や月の様子などについて，比較して考えることができる。 c: 太陽の現象が人間生活にどのような影響をおよぼすか調べようとする。 c：太陽光による温度上昇を測定する実習の結果・考察などを振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容

※令和４年度以降入学生用

	第2章自然景観と自然災害	A地震による景観と災害 B火山の景観と災害 C流水の作用による景観と災害	a：地殻変動と地震などの災害が起こることや，プレートの動きと地震・火山の関係性について理解することができる。 a：火山活動がつくり出す景観と火山の噴火などによる災害と対策について理解することができる。 b：地震発生のしくみと，地震によって引き起こされる災害について考えることができる。 b：火山の形と噴火の特徴を，さまざまな条件を比較するなどして，関連づけて考えることができる。 c：地震による災害とその対策について振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。 c：火山活動がつくり出した景観について，身近な例を調べようとする	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
	第2章 熱の性質とその利用	A 熱とは何か B エネルギーの利用	a：熱と温度の関係，熱量の保存，熱の伝わり方とさまざまな熱の発生についてわかる。 a：熱機関のしくみやエネルギーの変換とエネルギー保存の法則の関係について理解することができる。 b：身のまわりのエネルギー変換の利用例と関連づけて，エネルギーの効率的利用について調べ，比較し，表現することができる。 c：熱運動のエネルギーとその伝わり方，発熱のしくみなどについて調べようとする。 c：エネルギーの変換によってどのようにエネルギーが有効利用されているか振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容

※令和４年度以降入学生用

	第1章　物体の運動	第1節　速度 第2節　加速度	a：物体の等速直線運動や加速度運動、落下運動がわかる。 b：物体の速度・加速度を考えたり，グラフを考えたりする c：落体の運動の様子を調べ，x-t グラフや v-t グラフに表すことができる。 c：物体の運動に興味をもち，物体の運動を調べようとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
	第1章　生物と光	Ａ植物の生育と光 Ｂヒトの視覚と光 Ｃ動物の行動と光	a：生物と光の関係について正しい知識を持つことができる。 b：生物と光の関係について考察することができる。 c：生物と光の関係に興味や関心を持ち、自ら関係性を調べることができる。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
後期	第1章　物体の運動	第3節　落体の運動	a：物体の等速直線運動や加速度運動、落下運動がわかる。 b：物体の速度・加速度を考えたり，グラフを考えたりする c：落体の運動の様子を調べ，x-t グラフや v-t グラフに表すことができる。 c：物体の運動に興味をもち，物体の運動を調べようとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
	第2章　微生物とその利用	Ａ微生物の存在 Ｂ生態系における微生物 Ｃ微生物と人間生活	a：微生物の存在と，その発見の歴史についてわかる。 b：微生物の発酵作用によって，食料品などが生産されるしくみについて調べ，比較し，表現することができる。 c：微生物と発酵の関係について，調べようとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
	第2章　力と運動	第1節　力 第2節　運動の法則 第3節　様々な力と運動	a：力の性質や力のつり合い、作用･反作用の法則、運動の三法則、摩擦力や浮力，圧力などが理解できる。 b：力のつり合いや，作用・反作用を理解し、運動方程式から運動を考えることができる。 c：力に関心をもち、力が働いたときの運動の変化を調べようとする。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度